



社団法人 新開大學
創立者 野村胡堂
創立年 明治二十二年
創立地 東京府芝罘

### 社説

#### 軍機隊に筋金を

##### 望まざる實踐的機動力

軍機隊の組織は、戦時體制の要として、各軍種に於いて、機動的な行動力と、實踐的機動力を具備するべく、組織せられたるものである。然し、組織上の筋金を、實踐的機動力として、發揮せしむるに、如何なる努力を為さねばならぬか、此が、各軍種に於いて、最も重要な問題である。

軍機隊の組織は、戦時體制の要として、各軍種に於いて、機動的な行動力と、實踐的機動力を具備するべく、組織せられたるものである。然し、組織上の筋金を、實踐的機動力として、發揮せしむるに、如何なる努力を為さねばならぬか、此が、各軍種に於いて、最も重要な問題である。

### 學機隊をあげて戦力化

軍機隊の組織は、戦時體制の要として、各軍種に於いて、機動的な行動力と、實踐的機動力を具備するべく、組織せられたるものである。然し、組織上の筋金を、實踐的機動力として、發揮せしむるに、如何なる努力を為さねばならぬか、此が、各軍種に於いて、最も重要な問題である。

### 報國隊に筋金を

報國隊の組織は、戦時體制の要として、各軍種に於いて、機動的な行動力と、實踐的機動力を具備するべく、組織せられたるものである。然し、組織上の筋金を、實踐的機動力として、發揮せしむるに、如何なる努力を為さねばならぬか、此が、各軍種に於いて、最も重要な問題である。

### 入學者を臨時増加

高専、文系約五割、理系一割、入學者を臨時増加。此は、戦時體制の要として、各軍種に於いて、機動的な行動力と、實踐的機動力を具備するべく、組織せられたるものである。然し、組織上の筋金を、實踐的機動力として、發揮せしむるに、如何なる努力を為さねばならぬか、此が、各軍種に於いて、最も重要な問題である。

### 創意工夫生産を増強

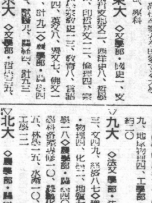
創意工夫生産を増強。此は、戦時體制の要として、各軍種に於いて、機動的な行動力と、實踐的機動力を具備するべく、組織せられたるものである。然し、組織上の筋金を、實踐的機動力として、發揮せしむるに、如何なる努力を為さねばならぬか、此が、各軍種に於いて、最も重要な問題である。

### 惜しまれる九碩學

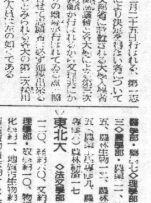
惜しまれる九碩學。此は、戦時體制の要として、各軍種に於いて、機動的な行動力と、實踐的機動力を具備するべく、組織せられたるものである。然し、組織上の筋金を、實踐的機動力として、發揮せしむるに、如何なる努力を為さねばならぬか、此が、各軍種に於いて、最も重要な問題である。

### 第二次募集へ

第二次募集へ。此は、戦時體制の要として、各軍種に於いて、機動的な行動力と、實踐的機動力を具備するべく、組織せられたるものである。然し、組織上の筋金を、實踐的機動力として、發揮せしむるに、如何なる努力を為さねばならぬか、此が、各軍種に於いて、最も重要な問題である。



津原教授



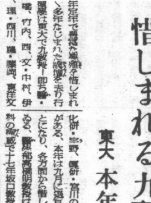
藤原教授



中野教授



山田教授



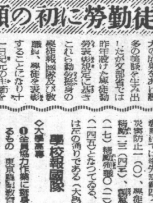
佐藤教授



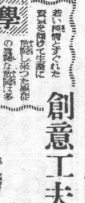
鈴木教授



高橋教授



斎藤教授



渡辺教授

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

入試 第二次募集へ

縮切は本月廿五日

専断的若

専断的若の現状
専断的若の現状を論じて、その社会への影響を分析する。

甘藷馬鈴薯、大豆の増産

本年度における食糧政策の課題
甘藷馬鈴薯と大豆の増産が食糧政策の重要な課題であると指摘する。

名目的現状の打破

生産調整の強制的な方
名目的現状を打破し、生産調整を強制的に行う必要があると主張する。

欺瞞排除の虚心な道義

一大新聞記者の反省
欺瞞排除の虚心な道義を説き、新聞記者の反省を促す。

物資経済への轉換

戦時体制下の経済政策
物資経済への轉換が戦時体制下の重要な経済政策であると論じる。

権力的強制の有効性

三資源不足とインフレーション
権力的強制の有効性を論じ、資源不足とインフレーションの問題を論ずる。

三資源不足とインフレーション
資源不足とインフレーションの関係を詳しく説明する。

三資源不足とインフレーション
資源不足とインフレーションの関係を詳しく説明する。

三資源不足とインフレーション
資源不足とインフレーションの関係を詳しく説明する。

三資源不足とインフレーション
資源不足とインフレーションの関係を詳しく説明する。

三資源不足とインフレーション
資源不足とインフレーションの関係を詳しく説明する。

三資源不足とインフレーション
資源不足とインフレーションの関係を詳しく説明する。

# 淡々と切みつた心境 團圓年ヶ引年たる顔眼

淡々と切みつた心境、團圓年ヶ引年たる顔眼。この二語、我が國の現状を、如何に的確に表現してゐるか。...

## 役所的行政を排す 野合團體の

野合團體の役所的行政を排す。野合團體の行政は、役所的行政の排除を以て其の特色とする。...

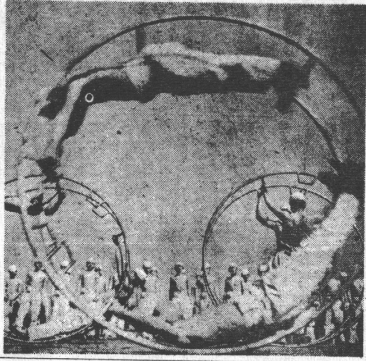


生産者の温い理解

生産者の温い理解。生産者に対する理解は、行政の改善に不可欠である。...

## 歴史を拓く使命觀

歴史を拓く使命觀。歴史を拓くことは、我々の使命である。...



若人の力を注ぎ込め

若人の力を注ぎ込め。若人の力を注ぎ込むことは、國家の発展に不可欠である。...



選挙権行使

選挙権行使。選挙権を行使することは、市民の義務である。...



選挙権行使

選挙権行使。選挙権を行使することは、市民の義務である。...

## 自己エネルギー 小林 啓

自己エネルギー。自己エネルギーを高めることは、個人の成長に不可欠である。...



學科

力勢の制先學科。力勢の制先學科は、現代社會に必要な知識を提供する。...

## 内面的充實化を 非常時局に備へ

中野 研 夫

内面的充實化を、非常時局に備へ。内面的充實化は、非常時局に備へるための重要な要素である。...

## 時局の心の現実 らか學文壇の近景 助之安 壽

助之安 壽

時局の心の現実、らか學文壇の近景。時局の心の現実は、文壇の近景を映し出す。...

Various news items and short articles on the left side of the page, including mentions of '大衆' and '若人の力'.

Various news items and short articles on the bottom left side of the page, including mentions of '自己エネルギー' and '内面的充實化'.

### 學叢



## 頗く里程標の建立

澤田 龍之介

一、HCOEの成立  
 二、HCOEの目的  
 三、HCOEの組織  
 四、HCOEの業務

### 學叢

## 科學的基盤へ躍進

### ——臨時委員會の報告——

千 輪 浩

臨時委員會の報告は、科學的基盤の躍進を期すべく、各種の調査と研究を推進し、その成果を報告した。報告には、基礎科學の重要性が強調され、その発展のための具体的な方策が示された。

### 學叢

## 建設的提議を

### 技術教育

三 三 三

建設的提議を技術教育に適用する重要性が論じられている。技術教育の質を向上させるためには、実践的な訓練と理論的知識のバランスが不可欠であると主張されている。

### 學叢

## 望獨立地論の討究

### ——主權問題と領土擴張——

望 垣 正 信

望獨立地論の討究は、主權問題と領土擴張の歴史的経緯を分析し、現代の国際法における位置づけを明らかにしている。領土擴張の正当性をめぐっての議論が中心となっている。

### 學叢

## 王座は吾等の手に

### ——日本の政治的現状と将来——

四 井 大 蔵

王座は吾等の手に、日本の政治的現状を鋭く批判し、国民が自らの運命を握るべきであると訴えている。政治的責任の所在を明確にし、改革の必要性を強調している。

## 物算計算論を惹起

### ——算術の基礎と応用——

三 三 三

物算計算論を惹起、算術の基礎と応用について詳しく論じている。日常生活における算術の重要性を説き、その発展の歴史を振り返っている。

## 拓開の史濟經那文

### ——経済史の発展と社会——

加 三 三

拓開の史濟經那文、経済史の発展と社会の関係を論じている。経済的発展が社会構造に与える影響を詳しく分析している。

## 傳自究研

### ——自己研究の意義と方法——

三 三 三

傳自究研、自己研究の意義と方法を論じている。学問の進歩には、研究者自身の探求と努力が不可欠であると主張している。

## 同盟世界週報

社 通 盟 同 認

同盟世界週報の発行に関する情報が掲載されている。この週報は国際情勢と同盟関係について詳しく報道している。

## 皇座は吾等の手に

四 井 大 蔵

皇座は吾等の手に、日本の政治的現状を鋭く批判し、国民が自らの運命を握るべきであると訴えている。政治的責任の所在を明確にし、改革の必要性を強調している。

## 建設的提議を

### 技術教育

三 三 三

建設的提議を技術教育に適用する重要性が論じられている。技術教育の質を向上させるためには、実践的な訓練と理論的知識のバランスが不可欠であると主張されている。

## 望獨立地論の討究

### ——主權問題と領土擴張——

望 垣 正 信

望獨立地論の討究は、主權問題と領土擴張の歴史的経緯を分析し、現代の国際法における位置づけを明らかにしている。領土擴張の正当性をめぐっての議論が中心となっている。

## 物算計算論を惹起

### ——算術の基礎と応用——

三 三 三

物算計算論を惹起、算術の基礎と応用について詳しく論じている。日常生活における算術の重要性を説き、その発展の歴史を振り返っている。

## 拓開の史濟經那文

### ——経済史の発展と社会——

加 三 三

拓開の史濟經那文、経済史の発展と社会の関係を論じている。経済的発展が社会構造に与える影響を詳しく分析している。

雄山新聞 食物衛生 新能樂史研究 河出書房 大女子學の要諦 西澤大平の古代文明 江戶時代の幕府法 民族法律學入道 近世日本國民史 同盟世界週報 教育新體制の研究 The Balance Sheet 古書活用 井上書店